

【 会 議 録 】

【 会 議 録 】			
作成日	令和 7 年 9 月 22 日	作成者	環境推進課
会議名	令和 7 年度 刈谷市環境都市アクションプラン推進会議		
日 時	令和 7 年 9 月 12 日（金） 10 時～11 時 30 分	出席者	・ 委 員 9 名 ・ 事務局 5 名
場 所	市役所 3 階 301 会議室		
資 料	別添のとおり		
議事内容	下記のとおり		

【開会】

◆環境推進課長により進行

◆委員紹介（環境推進課長）

出席委員を名簿により紹介

※出席委員が過半数以上であるため、会議成立。

◆あいさつ（会長）

降水量や水害の多さから、地球温暖化を感じている。自然現象は避けられないものの、身近でできる地球温暖化対策は行っていく必要がある。刈谷市は環境都市を目指しているため、取組推進のためにも、この会を意味あるものにしていきたい。

【議題】

議題（1）刈谷市のCO₂排出量について

- ・資料 1 に基づき事務局より説明

◆意見・質疑

委員	：廃棄物部門において、2013 年度比でCO ₂ 排出量が増加している理由は。
事務局	：プラスチックの可燃量の増加や人口増加が影響していると考ええる。引き続き資源化を進めていく必要がある。
会長	：廃棄物部門には産業廃棄物も含まれているのか。
事務局	：刈谷知立環境組合クリーンセンターの焼却処理におけるCO ₂ 排出量を算定しているため、一般廃棄物のみを算定している。
委員	：2022 年度現状値を見ると、2030 年度の目標値達成が難しいように思われるが、狙い通りの数値となっているのか。
事務局	：最終年度目標のみ設定し、単年度目標値は設定しているわけではないため比較はできないが、今後もCO ₂ 排出量削減に向け、取組推進を実施する必要がある。
委員	：今回算定しているCO ₂ 排出量の年度が3年度前であるが、目標年度である2030年度の評価は2033年度に行うのか。

【 会 議 録 】

事務局	: C O ₂ 排出量の計算に国が公表するデータを一部用いているため、市単独での計算には限界があるが、ご指摘いただいたとおり、2030 年度時点でどのように評価していくべきなのか、3 年前ではなく直近の数値をお示しできる部分があるか今後検討していく必要がある。
-----	---

議題（2）刈谷市環境都市アクションプランの進捗状況について

- ・資料 2 に基づき事務局より説明

◆意見・質疑

委員	: (I-1-1) 事業用脱炭素促進設備導入費補助事業は年間予算を使い切っている状況か。商工会議所として活用に関心があるが、使い勝手についても確認が必要ではないかと思う。
事務局	: 令和 6 年度は予算の余りが出ている状況である。昨年度碧海信用金庫と協働し、セミナー開催を行い事業所への啓発を行った。引き続き、補助金を検討いただけるよう周知啓発を行っていく。
委員	: せっかくの対面で集まる場のため、市から事業所への要望があれば伺いたい。
事務局	: 市内事業所との連携を強化していきたい。どんな些細な情報でも構わないので、先進技術等、市と協働いただける分野・内容があれば情報提供いただきたい。
会長	: (I-1-1) C O ₂ 削減見込量のような、市の取組による削減量の結果が、議題（1）の結果として出てくる認識でよいか。
事務局	: 計算上、数値を直接反映はしないものの、議題（1）のC O ₂ 削減には結びつく。環境講座の参加人数等、C O ₂ 削減量の計算ができない項目もあるが、C O ₂ 削減量を集計可能な項目もいくつかある。

議題（3）その他について

◆事務局説明

本日、議論いただいた内容について、後日、気づいた点等があれば、1 週間程度を目安に、個別に事務局までご連絡いただきたい。

以上